

# 道芝



みちしば

第61号

平成30年8月15日

水戸市青少年育成推進会議

会長 加倉井 喜正

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内

水戸市笠原町978の5 ☎306-8692

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

## 20周年特集号

平成30年4月21日(土)に水戸市総合教育研究所に於いて、  
水戸市青少年育成推進会議発足20周年記念総会が開催されました。



### 会長あいさつ

「発足二十周年をむかえ」

水戸市青少年育成推進会議

会長 加倉井 喜正



この度、水戸市  
青少年育成推進会  
議は発足二十周年

を迎えることができました。これも  
ひとえに、皆様方のご指導ご支援の  
賜物と深く感謝申し上げます。

当推進会議は、青少年・若者の健  
全育成を願い、「親(大人)が変われ  
ば子どもも変わる運動」を育成活動  
の根幹とし、活動して参りました。  
その間、多くの先輩方が課題を克服  
し、大きな成果を築き上げて参りま  
した。

近年は少子化、核家族化、超情報  
化、生活様式の多様化に伴う人間関  
係の希薄化が進み、育成活動も厳し  
くなる一方です。

しかし、諸先輩方が積み上げてき  
た実績に恥じぬよう、大きな節目で  
ある二十周年を迎え、さらなる活動  
を積極的に展開して参ります。

次代を担う青少年・若者の育成に  
今後共にご支援ご協力をお願い申し上  
げます。



水戸市青少年  
育成推進会議ロゴマーク

子育ては ほめる 叱る 見守る 抱きしめる

外側は、水戸市(MITO)の  
頭文字である「M」を「ハート」  
マークと「支えあう大人」、内側は市の木である「梅」をモチーフに「元気な子どもたち」としてデザ  
インすることで、「大人が支えあい、子どもたちを健やかにほぐくむ」ことを表現しています。

# 「水戸市青少年育成推進会議 20年を振り返って」

講師：水戸市青少年育成推進会議顧問 滝澤 要

この度、青少年育成推進会議が、発足して20年を迎えることができました。

皆様方には、日ごろから青少年の健全育成に御尽力いただいていることに、厚くお礼申し上げます。

さて、今の「水戸市青少年育成推進会議」が設立されたのは、今から20年前、平成10年7月のことでした。

それまでは「水戸市青少年育成連絡協議会」として青少年の健全育成や、県民会議の運動に参加していましたが、組織の

再編検討を経て、15の中学校区に地区青少年育成会をおき、市民総参加による、健全な家庭づくり運動や青少年の社会参加活動の推進を目指しました。

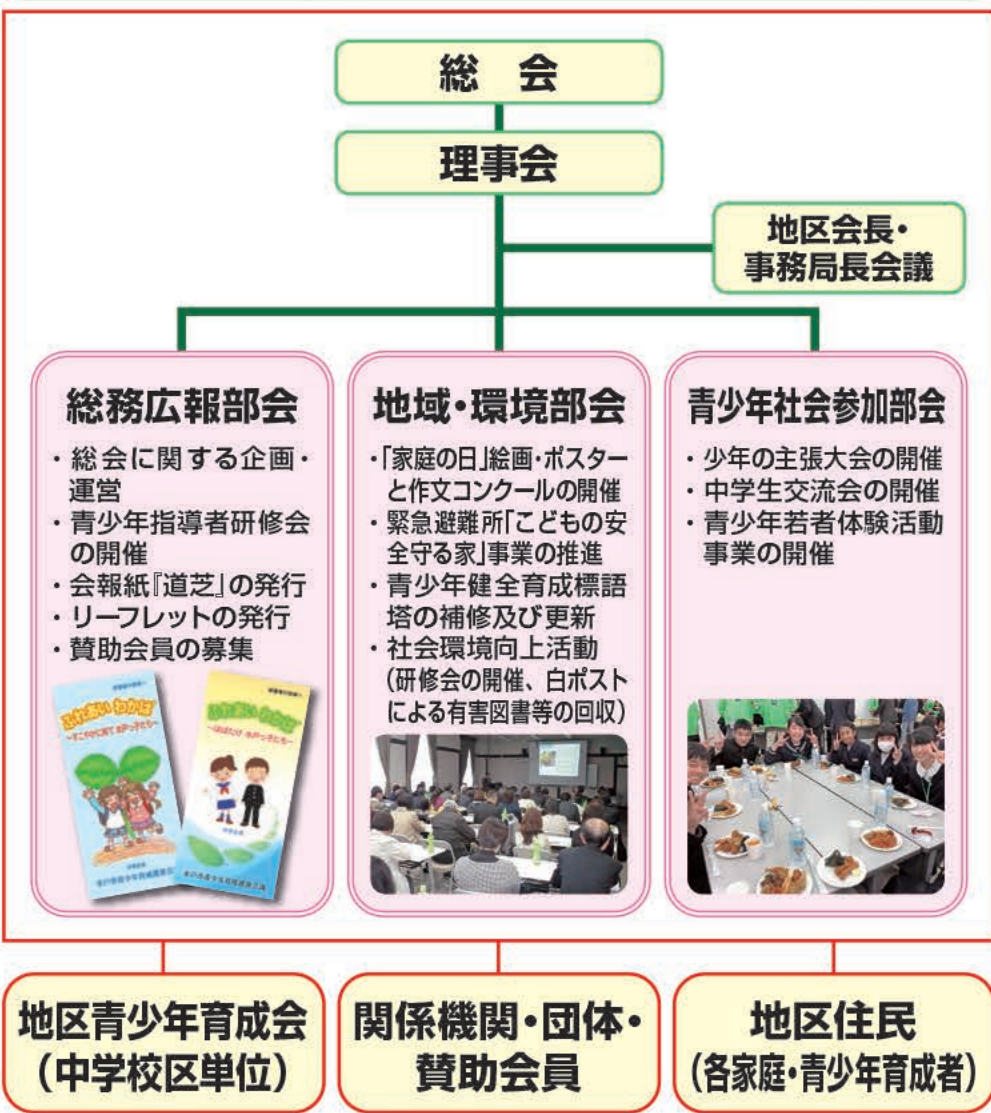
その後、平成17年には内原町との合併により、16中学校区となっております。

近年の青少年を取り巻く環境につきましては、地域における連帯感の希薄化が進行する中で、地域活動への関心が低下するとともに、情報化が急速に進行し、様々な課題が山積しているところです。

そのため平成23年には組織を見直し、部会を「総務広報部会」「地域・環境部会」「青少年社会参加部会」の三つに効率化し、副会長が各部会を担当し課題解決に取り組むようにしました。

広報紙「道芝」、指導者研修会、青少年健全育成標語塔や緊急避難所「こどもの安全を守る家」、「家庭の日」コンクール、中学生交流会、青少年サミット等、活動は多岐にわたたり、幅広い活動を今でも続けていくところとです。

## 水戸市青少年育成推進会議



推進会議のロゴマークを作成したのも平成23年です。デザインは中学生から公募しました。外側は、水戸市の頭文字「M」をハートマークに置き換え「支えあう大人」をイメージし、内側は、水戸市の木「梅の木」をモチーフに「元氣な子どもたち」としてデザインすることで、「大人が支えあい、

子どもたちを健やかに育む」ことを表現しています。青少年育成に携わる皆様には、楽しく、子どもと一緒に思い出に残る活動をしていただきたいと思います。「やって良かった」と思えるように、協力しあって、少しでも多くの方が活動に参加できるようにしたいものです。



## 平成29年度決算・平成30年度予算

決算/収入総額 5,621,076円 支出総額 5,431,973円 差引残高 189,103円  
(次年度へ繰越)

予算/収入総額 5,640,000円 支出総額 5,640,000円

収入 (単位:円)

科目	平成29年度 決算	平成30年度 予算	内容
会費	3,338,250	3,350,000	推進会議本部会費、賛助会費
補助金	2,100,000	2,100,000	水戸市 水戸市社会福祉協議会
諸収入	9	897	預金利息
繰越金	182,817	189,103	前年度繰越金
合計	5,621,076	5,640,000	

支出 (単位:円)

科目	平成29年度 決算	平成30年度 予算	内容
事務局費	523,459	528,000	会議費、旅費、需用費、 役員費
総務広報部会費	1,407,124	1,560,000	青少年指導者研修会 会報誌「道芝」の発行(年2回) リーフレットの発行(年1回)
地域・環境部会費	528,421	564,000	「家庭の日」絵画・ポスターと作 文コンクール 社会環境向上研修会 「こどもの安全を守る家」プレ ートの作成 標語塔の補修
青少年社会参加部会費	266,669	280,000	少年の主張大会、中学生交流会 青少年若者体験活動事業
地域育成活動費	1,380,000	1,380,000	地域活動づくりの支援 (16地区)
ふれあいを深める事業費	1,280,000	1,280,000	実施地区へ交付
負担金	16,300	17,000	水戸地区青少年育成市町民会 議連絡会負担金
積立金	30,000	30,000	記念事業費
予備費	0	1,000	
合計	5,431,973	5,640,000	



4月21日に実施された総会では、事業計画等が承認されました。今年も、市民の皆様とともに推進会議が一体となり、子どもたちを温かく見守っていただけるようご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

### 平成30年度正副会長・部長・監事・理事(敬称略)

会長	加倉井喜正	理事	大録久美子・立川 力
副会長	環 哲男・林 由香里		白石 力・椎名えり子
総務広報部部長	齋藤 直哉・本郷きぬ子		佐川 雄太・脇 健仁
	中村 正樹		雨谷 精一・笹沼 重晴
地域・環境部部長	三村 達哉		杉本 憲子・中島 弘友
	下平 直美		高野 秀樹・三田寺正志
青少年社会参加部部長	亀田龍太郎		寺門 正秋・櫻井 盛二
	堀田 望		齊藤 佳昭・高安 常郎
	後関 圭子		佐藤 光雄・原 毅
監事	川野邊洋美		鈴木 忠信・小坪 真司
	梶 正憲		大津 常行・岡崎 充芳
	羽根坂恵美子		中村 英一・高橋 丈夫
	勤・大高 宣靖		木村 久文・高島 繁正
	皆川 睦子		岡田 貴子・中村 正樹
			鈴木 吉昭・増子 考伸
			亀田龍太郎・川野邊洋美



総会の終了後、「ホテルレイクビュー水戸」に場所を移し、発足二十周年を祝う懇親会を開催しました。  
高橋市長を始め、当推進会議を支えてきてくださった方々に御参加いただき、楽しい時間を過ごしました。  
懇親会の中で、過去10年分の活動記録のスライドが上映され、さらに会場が盛り上がりました。



総務広報部会の地域活動の視察や座談会、青少年社会参加部会の「少年の主張大会」や「青少年サミット」の様子(少年自然の家に1泊2日で行ったこともありました)、地域・環境部会の「家庭の日」絵画・ポスター等のコンクールや「こどもの安全を守る活動」などが、スライド上映されました。  
当時の記憶がよみがえり、子どもたちの熱い思いや視線を感じ、これからの育成会活動への意欲を新たに作る時間となりました。

# 10年の活動

## 総務広報部会



▲総会

推進会議のロゴマークやスタッフジャンパーの作成、「健全な家庭づくりリーフレット」の創刊など、組織の土台を固めてきました。指導者研修会の内容は時代に合わせ工夫を重ねています。



▶指導者研修会



◀報佛寺にて講話



▲水戸駅にてあいさつ運動



▲広報委員会



▲マラソン大会応援

## 地域・環境部会



白ポスト・標語塔

「家庭の日」の推進、白ポストの管理、「こどもの安全を守る家」の運営など、文字どおり環境のために地道に活動してきました。社会環境向上研修会の講師の選定にも知恵を絞ります。



▶「こどもの安全を守る家」



◀「家庭の日」作品展示



▶サンコン氏の講演



◀社会環境向上研修会

10年の活動を写真でふり返ってみました

# 10年の活動

## 青少年社会参加部会

平成23年度の部会統合で、少年の主張大会や青少年サミットを担当するようになった青少年社会参加部会。平成24年度は「中学生交流会」をスタートさせ、また、青少年サミットの内容を見直して平成29年度には「わくわくド



少年自然の家



キドキみんなであそぼ！」という体験事業に模様替えするなど、行事の運営の中心を担っています。



青少年サミット

▶ 青少年若者体験活動事業

▶ みんなでおにぎりを作る



▶ レクリエーション

▶ やっぱ水戸が好き！宣言



▶ 中学生交流会(発表)



▶ 中学生交流会(市長も参加)



▶ 中学生交流会  
(みんなでしゃべりセッション)



▶ 中学生交流会  
(提言発表)



▶ グループ討論



▶ 少年の主張大会



元気な子どもたちのなつかしい様子です

# 地域で子どもの安全を守ろう!

## 「こどもの安全を守る家」看板設置



市統一マーク



県統一マーク

本推進会議では、地区青少年育成会が中心となって子どもの緊急避難所を設けています。

警察関係でも郵便局、コンビニエンスストア等を緊急避難所に指定しています。

(上記が避難所のマークです。)

子どもたちの笑顔を守るには、家庭や学校だけではなく、地域の皆様の力が不可欠です。「こどもの安全を守る家」とは、子どもたちの安全な登下校や放課後の生活ができるよう、水戸市内の事業所や個人が登録し、子どもたちが危険を感じて避難してきたときの保護や体調不良などの一時避難の対応をお願いしているものです。

目印として、子どもと犬のイラストのプレートを設置しております。

子どもたちの安全を守るため、子どもたちに危険を回避する方法を教えたり、あいさつ運動や防犯パトロールを継続して行うことにより、地域全体で子どもたちの安全を守っていききたいものです。

※「こどもの安全を守る家」とは、水戸市内の事業所や個人宅に看板を設置し、子どもたちが困った時に、かけこめる場所です。

## わたしたちの地域④

## 双葉台地区

40周年を迎えて

昨年度は、双葉台小・中学校は40周年を迎え、記念の年となりました。

小学校では、記念式典に茨城県警察音楽隊をゲストに招き、演奏会を行いました。

双葉台中学校では、卒業生でシンガーソングライターの磯山純氏のライブ&トークを行いました。

また、立志式記念講演として、女子レスリングの吉田沙保里選手を講師に招き「夢に向かって」という演題で、貴重なお話をいただきました。



### 地域交流

#### 【青少年社会参加部会】

双葉台地区、山根地域の皆さんと、青少年の地域交流できる場として、「双ツ山まつり」を開催しているお祭りや、地域の方を講師として招き、特技などを活かした体験コーナーなど青少年とふれあいの場を設けています。

#### 【あいさつ運動】

地域・環境部会では、小中合同で行う「あいさつ運動」を実施しています。

あいさつを通して、明るい地域と青少年に安心感を持ってもらうことを目的としています。

### 広報紙の発行

広報紙「ゆずりは」を年2回発行し、学校や地域の情報をお届けしています。

「ゆずりは」の意味は、新しい葉が一人前になるのを見届けてから、落葉するように見え、古くから子どもの成長を温かく見守る親の姿に例えられているトウダイグサの常緑高木です。子どもたちの健やかな成長を願って、この名前を付けました。

# 君もサブリーダーになろう!

一緒に活動してみませんか

## サブリーダーズ会とは…

水戸市に在住又は水戸市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。通称、サブ又はSLC(サブリーダーズクラブ)と呼ばれています。

水戸市教育委員会の支援のもと、休日や祝日、長期休業日などに行われている子ども会行事や、水戸市が主催する事業等の“補助指導者”として子ども達に対し必要な指導を行ったり、レクリエーションやキャンプ活動等を行ったりしています。



## 活動内容



### 【SLC主催行事】

キャンプ研修・他高校生会との交歓会・クリーンアップ等

### 【子ども会主催行事】

新入生歓迎会・キャンプ・球技大会・クリスマス会等

### 【水戸市主催行事】

四季の体験学習・サマーキャンプ・星座のつどい等

### 【その他活動】

ちびっ子広場・水戸黄門まつり・たこあげまつり等

## 新会員募集

「SLC新会員」を随時募集しています。入会を希望する方は、入会承諾書(水戸市ホームページよりダウンロードできます。)をご記入の上、下記の問い合わせ先までご提出ください。(郵送可。FAX不可)水戸市に在住又は水戸市内の高等学校に通う高校生なら誰でも入会できます。

年会費 / 350円

申込み・問合せ / 生涯学習課(029-306-8692)



## 親が変われば、子どもも変わる

茨城県青少年育成協会(旧青少年育成茨城県民会議)では、青少年の心を育てるキャンペーンとして、親や大人が改めて自らを振り返り、姿勢を正していくことを願い、「**子どもが変わる**」運動を推進しています。

青少年が、心身ともにたくましい人間として育つためには、まず親・大人の自覚が大切です。とりわけ日常生活における親の子どもへの関わりが大きく影響します。

水戸市青少年育成推進会議では、この運動を育成活動の根幹としています。



あなたは今、何を想って生きていますか？

夢はありますか？

今の自分に悩んでいたたり、何の目標もなく何となく過ごしているのであれば是非、自分大好きゲームをしてみて下さい。

まず、メモ用紙に自分の好きな事・好きな物を一枚につき一つ書いて下さい。例えば

ステーキ テレビ 海 ケーキ  
絵をかく ゲーム みたいにい  
思いつくことたくさん。次に、そのカードをシャッフルして裏向きに二枚を一組にして並べて、次はその一組を開き、どっちが好きか選びます。を、

## ハッピーは自分しだい!

あるし、体験・経験によって現実化し思いに変化が現れると思えます

が、そんな時は自分だけで考えずに色んな人とかかわりを持つてほしいです。そんな友人や人達はきつとお互い大きな存在になるでしょう。同じ一日を過ごすのであれば楽しい一日になってほしいと願っています。

(後関 圭子 記)

# 第33回水戸市少年の主張大会

平成30年7月15日

茨城県立県民文化センター



## 「優秀賞」(応募総数 3,571点)

学校名	氏名	学年	タイトル
第一中	宮尾 晃登	3	人と人をつなぐ魔法の言葉
第二中	小澤 桃佳	3	前向きな気持ちで
第三中	笠原 大貴	2	人生の1万分の1の出来事
緑岡中	西垣 美織	2	言の葉がつなぐ心の輪
第四中	稲田 悠理	2	減らそう「食品ロス」
飯富中	鈴木 真悠	2	支え合って生きていく
赤塚中	武田 安未	2	支え合う人々
第五中	関根 月奈	3	本当の「思いやり」とは
見川中	太田 涼風	1	全力で取り組もう
双葉台中	小瀬愛結未	3	大きな視界で
笠原中	尾崎 巧光	2	自分らしく生きる
石川中	勝二萌々花	2	また笑顔で会えるように
千波中	高野 聖音	2	「ありがとう」を言葉に
常澄中	黒澤 桜子	1	心からのあいさつができるために
内原中	大鐘こころ	3	頑張れる理由
国田義務教育学校	佐藤忠之助	9	ボランティア活動を通じて
茨城大学教育学部附属中	平子 真歩	1	跡つぎ問題から考えたこと
茨城中	栗原 彩藍	3	地域活動について思うこと
茨城朝鮮初中高級学校中級部	姜 叡心	3	自分の考えと確かめる目
水戸英宏中	小川 心咲	2	友達の大切さ
智学館中等教育	寺田 爽楽	3	国境を越えて

水戸市少年の主張大会は、中学生が豊かな感性を育み、広い視野を持ち、しっかりとしたコミュニケーション能力を身に付けてほしい。また、大人は彼らが現在どのような問題と向き合っているのか、どのような意見を抱いているのか理解し、社会全体で共

か？どうしていくべきか？  
 考えようと開催されているもの  
 です。  
 優秀賞を受賞した各中学校の代表による、中学生のみならず、しい多様性のある考えや主張が繰り広げられ、発表者も聴衆も自分たちで今出来ることは何か？どうしていくべきか？

共に考えることが出来ました。  
 ・ボランティア活動の熱い思い  
 ・ゴミ拾いは街のために  
 ・自分の街がきれいになった  
 ・人と別れる時は笑顔で  
 ・地域活動は現代に興味をもった  
 ・地域活動は現代社会において欠かせない  
 ・「ありがとう」を言葉に！  
 ・大きな

視野で前向きに生きて  
 ・人は皆平等である  
 ・一人一人を尊重  
 ・その人を理解してあげる、という具体的な主張が繰り広げられ、惹きつけられました。  
 また、今年は「平和を考える集い」として、広島から被爆体験者をお招きしての講話も聴くことができました。  
 主張発表の内容につきまして、後日「主張大会作文集」を発行し、市内図書館等に配布する予定です。ぜひ御一読ください。

## 編集後記

水戸市青少年育成推進会議発足二十周年記念総会が執り行われ、諸先輩、関係者、地区の皆様方、多くの御臨席を賜りまして、盛況且つ滞りなく終了しました事を御報告させていただきます。  
 さて、本推進会議も新年度がスタートしました。

平成最後の年が、有終の美で飾れますよう、引き続き皆様方の御協力を頂きながら精一杯頑張る所存でございます。  
 (G・K)

## 編集委員 (○委員長)

○下平直美(緑岡)  
 本郷 奈緒美(育成者)  
 石野 隆志(一中)  
 橋本 浩一(富中)  
 綿引 子(飯中)  
 相羽 子(五中)  
 三村 哉(石川)  
 相村 力(国田)  
 木岡 利三(中波)  
 芝岡 子(千波)  
 吉富 静(四中)  
 藤田 雅俊(赤塚)  
 酒井 雅俊(赤塚)  
 林田 由香里(見川)  
 島崎 通子(双葉台)  
 島崎 憲子(双葉台)  
 桑名 憲子(双葉台)  
 吉川 幸子(常澄)  
 中村 正樹(内原)